

1. 授業の概要(ねらい)

業界が異なる企業の動向、事業内容、決算内容、将来性、採用計画等、多角的に分析し、産業界において当該企業の位置づけを確認する手法を学びます。

具体的には「利潤追求」と「発展」を使命とする企業が適正かつ合法的な企業活動を行っているか、国内外の評価はどうか、リスクマネジメントはどうかについて各事例をもとにPBL手法を用いて、調査・分析を行います。

2. 授業の到達目標

「良い会社」とは「儲かっている会社」なのか、「労働条件が良い会社なのか」、「有名な会社なのか」などについて、「自己分析」に基づき、自分が考える「良い会社」の評価基準を設けることができること、また、その評価基準について必要な情報を分析し、論証できることを到達目標といたします。

3. 成績評価の方法および基準

授業への貢献度(50%)・小論文(50%)にて総合的に評価します。

尚、小論文についてはテーマに基づき、「課題抽出」から「課題解決」に至るまでのプロセス、また、「課題解決」に障害となる事象、課題解決後の「期待される効果」などについて、講義で使用する「キーワード」を活用しながら論理的に記述できることを合格水準といたします

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストは特に使用せず、授業で参考資料を投影または配布します。

5. 準備学修の内容

講義終了時に次回の講義の「ポイント」または「キーワード」を紹介します。各自、それぞれ関連する事項の事前学習を行い、理解を深めた上で出席するようにして下さい。

6. その他履修上の注意事項

本講義では自分が考える「良い会社」について、経済の視点、将来性の視点、事業運営の視点等から分析を行います。自らが重きをなす「視点」について明確にすることを期待します。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
(授業の進め方)
- 【第2回】 職業選択の考え方Ⅰ
(「職業選択」の決め手は何であるかについて考える)
- 【第3回】 職業選択の考え方Ⅱ
(「自己理解」「自己分析」を図り、自分に適した職業は何かについて考える)
- 【第4回】 職業選択の考え方Ⅲ
(「自己理解」「自己分析」を図り、自分に適した職業は何かについて考える)
- 【第5回】 企業の存在価値
(職業選択に際しての「企業分析」を踏まえて、「企業」の存在価値の原点を学ぶ)
- 【第6回】 企業研究概論
(「企業選択」のポイントは何か、個人の適性、やりがいとの関連を交えて考える)
- 【第7回】 企業の生産性
(企業が追求する生産性向上の重要な要素である経営資源(資金・人材等)と企業価値向上との関連性を学ぶ)
- 【第8回】 業界研究Ⅰ
(産業を支える代表的な業界の経営理念、事業形態、人材育成等の特色について企業対比の知識を深める)
- 【第9回】 業界研究Ⅱ
(産業を支える代表的な業界の経営理念、事業形態、人材育成等の特色について企業対比の知識を深める)
- 【第10回】 業界研究Ⅲ
(産業を支える代表的な業界の経営理念、事業形態、人材育成等の特色について企業対比の知識を深める)
- 【第11回】 業界研究Ⅳ
(産業を支える代表的な業界の経営理念、事業形態、人材育成等の特色について企業対比の知識を深める)
- 【第12回】 業界研究Ⅴ
(産業を支える代表的な業界の経営理念、事業形態、人材育成等の特色について企業対比の知識を深める)
- 【第13回】 業界研究Ⅵ
(産業を支える代表的な業界の経営理念、事業形態、人材育成等の特色について企業対比の知識を深める)
- 【第14回】 論理的思考法
(企業人に求められる「言動」「思考」「判断」等で求められる「論理的思考」を学ぶ)
- 【第15回】 講義総括
(講義全般振り返り)